

**講義タイトル: パブリック・ディプロマシーとしてのクール・ジャパン
— 2020オリンピックに向けて日本の魅力大発信 —**

講師: **佐々木 隆 先生** (武蔵野学院大学大学院 教授)

日時: 2014年10月28日(火) 16:20 ~ 17:50 (5時限)

場所: 2301 講義室



趣旨と内容

中井ゼミ(日本語と英語の比較研究)では、近年クール・ジャパンに関連する素材でことばの研究をする学生が増えてきました。今日、クール・ジャパン効果によるインバウンド拡大の勢いは、訪日ツーリズムの環境を大きく変えています。2年前に全学で八十余名が受講し大好評だった「オタク文化とツーリズム」に続き、佐々木隆先生シリーズの第二弾です。今回は、クール・ジャパンを軸に、パブリック・ディプロマシー(文化広報)、コンテンツツーリズム、国家ブランド(日本ブランド)などをキーワードに、フィールドワークを含めた調査研究に基づいて、以下の内容でお話ししていただく予定です。

どなたでもご自由にご参加ください。

- 1 パブリック・ディプロマシーとは
- 2 クール・ジャパンとは
- 3 ソフト・パワーと国家ブランド
- 4 ポップカルチャーとオタク文化
- 5 国策としてのクール・ジャパン
- 6 クール・ジャパンの行方



講師の紹介

佐々木 隆 (1960年生)

昭和62年3月 駒澤大学大学院人文科学研究科英文学専攻博士後期課程満期退学。平成13年3月 駒澤大学より博士(英文学)を取得。学位論文「書誌から見た日本シェイクスピア受容研究」。現在、武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部教授、同大学院国際コミュニケーション研究科長。クール・ジャパンに関連する現在の担当科目は、「国際文化交流特殊研究(院)」「国際文化交流特殊講義(院)」「国際文化交流」「ポップカルチャー論」。

関連近著に、「パブリック・ディプロマシーとしての日本文化」(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第11輯、武蔵野学院大学日本総合研究所、平成26年3月)。